



島教協

《 すべては「子供たちのために」 》

情 報

http://
www.kyougikai.orgE-mail
office@kyougikai.org

〒693-0011 出雲市大津町2214 Tel/Fax:0853(22)7762 代表者 安達利幸 編集人 石原康博

No.589

2月議会、15人の議員が教育について質問！

県議会での教育問題をみる

県議会は、六月、九月、十一月、二月に行われている。それぞれの議会で、多くの教育問題が取り上げられ、議論がなされている。島教協は、十月に自民党県議連の議員の方々と教育懇談会を開き、現場の声を直接伝えた。三月十三日に閉会した議会では、十五人の議員の方が教育に関して質問を行っている。県内の教育に対する関心の高さが伺える。では、今年度、県議会では、どのような教育問題が取り上げられたのだろうか。質問項目のみを少し挙げておく。(質問は抜粋、一部改変)

- ・ 学習指導要領の改訂を受けての今後の徳育のあり方
- ・ 特別支援教育コーディネーターの指名などの学校全体としての支援について、現状の課題と解決に向けた取組
- ・ 学力向上について
- ・ 教員増が望めない現況下において、学習指導要領改訂が、教育現場を追い込んでしまうのではないか
- ・ メディア時代の青少年健全育成について、望ましい方向性を出すべき
- ・ 地域の偉人にスポットを当てて後世に伝えていくべきと思うが、現状の取組や今後の考え
- ・ 文書による報告スタイルを大幅に簡潔にしてみたい
- ・ スクールサポート事業、クラスサポート事業などの活用状況と効果の検証も含め、現在の島根における少人数数学級をどのように評価するか
- ・ 県内小中学校におけるAEDの配備状況及び今後の計画について
- ・ 教育現場関係者の精神疾患の事例が年々増加している。この数と傾向をどのように認識しているか
- ・ 勤務地域限定採用制度の実績及び効果並びに今後の見込み
- ・ 島根県の子供たちに必要な教育費の確保

今後とも島教協では、教育懇談会・要望活動を通じて現場の声を行政に伝え、よりよい島根の教育の創造に努めていく。

新規加入促進キャンペーン実施

今、組織の力が重要です！

さまざまな教育改革、教育施策が行われている中、行政に対して現場の声を届け、提言・要望していけるのは教職員団体に入っていればこそです。一人のつぶやき、不満は愚痴に過ぎません。それを組織の声として行政に届けることで、子供たちによりよい教育環境を提供することができます。私たち教職員にとっても、働きやすい職場とすることができ

ます。他団体が、労働者と位置づけているのに対して、島教協は、教員を教育専門職と位置づけています。「すべては子供たちのために」をスローガンに、自らの資質の向上と給与・勤務条件の改善を求め、活動していきます。つまり、資質向上のための講演会・研修企画と給与・勤務条件の改善のための提言・要望活動、この二つが組織活動の鍵となっています。

そして、提言・要望活動を行っていく上で、組織の力となるのが、組織に加入している会員の皆様の声であり、数なのです。数は力になるのです。私たちは自らの私欲を無理に通そうという組織ではありません。「子供たちのために」をすべての判断基準とした団体です。どうか一人でも多くの新規加入者獲得にご協力いただき、提言・要望活動に活かしていきたいでしょう。

四月、五月は、新規加入促進キャンペーンとして、学校訪問を行っていきたいと思います。どうぞ、よろしくお願いたします。



情報モラルについて考える

全国的に問題となつている「学校裏サイト」。

全国では三万八千以上サイトが存在する。ネットワーク上では匿名性が高いため、無責任な発言や有害情報を発信することもある。情報モラルに対する講演会・研修会は各地で開かれており、岩手県立総合教育センターでは、擬似的なネット空間で携帯サイトを体験しながら危険性を学べるサイトを開発した。



県内の情報モラルに対する意識はどうだろうか。携帯電話の普及により、子供たちがインターネットを通じて情報を得る機会は格段に増えた。今対策を考えないと、学校や親が対応しきれないという状況が起きる。

二月五日には、県教育長、県警本部長、県健康福祉部長の連名で、「携帯電話等のトラブルから子供を守るためのメッセージ」が出された。子供・保護者・地域の大人へのこのメッセージが示されただけで終わらないようにするために、今後、県や市町村がどのような取組をしていくのか注目していきたい。また、買い与えた大人の責任について、家庭でじっくり考える時間をとる必要があるだろう。

全日教連が行ったモニター調査によると、「情報モラルを指導する際に、難しさを感じている理由」として、「社会全体の規範意識が低下しているから」や「子供たちの実態がつかみにくいから」の項目の割合が高い。

また、「子供たちが情報モラルを身に付ける上で、今後社会全体で取り組まなければならない課題」として、「有害ネット等、子供に悪い影響を与えるサイトへの法規制を厳しくすること」「子供たちに持たせるパソコンや携帯電話の機能に使用制限を義務付けること」「家庭でネットに参加する約束やマナーを決め、親が責任を持つこと」と続く。

子供が被害者・加害者にならないために、研修活動の充実や啓発を行っていききたい。

平成二十年度 講師研修会のご案内

来年度の講師研修会は、四回の実施を予定しています。第一回の研修会では、「島根県の教員に求められるもの」についての講話、新規採用者の講話と採用試験に向けて具体的にどう取り組んでいくかを考えます。日程は次の通りです。

第一回	4 / 27 (日)	「出雲」	第二回	5 / 17 (土)	「出雲」
第三回	6 / 22 (日)	「出雲」	第四回	8 / 30 (土)	「出雲」

紹介文 受付中

「学校紹介文」をFAXで随時受け付けています。学校・地域の紹介、研究発表・実践紹介などを掲載し、現場の様子、会員の皆様の様子を伝えていきます。より多くの現場の様子を伝えるためにも、ご協力をお願いいたします。

学校紹介

出雲市立遙堪小学校

遙堪小学校は、のどかな田園地帯のなかにあります。全校児童は129名。子どもたちも職員もみんなお互いに顔と名前が分かり、学年の所属を超えたコミュニケーションがとれます。音楽科の研究・実践を重ね、いきいきと楽しんで歌う子どもたちが増えました。

11月2日(金)の第28回島根県音楽教育研究大会(出雲大会)において、秋をテーマにした音楽集と

2年生の研究授業を公開しました。研究授業では、大社町に伝わる「吉兆ばやし」に合った太鼓のリズムを創作する活動を行いました。また、大社地区の幼稚園、小中学校学校合同で「群読合唱 雲太の町の物語」の研究演奏を行いました。

出雲市立塩津小学校

塩津小学校は、映画「白い船」で有名な日本海に面した小さな学校です。白い船は、昨年度、航路が太平洋側に移ったので、数年来続いていた交流もひとまず幕をおろしました。

今年度は、全校11名で“何事にも一生懸命・本気で取り組もう”をモットーに、小規模ながら毎日、にぎやかに学校生活を送っています。